

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（北陵）中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	数学AB・・・「図形」領域は県平均と比べると正答率は低い。 国語AB・・・「話すこと・聞くこと」に課題がある。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	○自由に取れる学習プリント棚の内容の充実、利用促進。	A	○数学と英語と社会のプリントを単元別に設置。定期的に入れ替えをする。 ○設置教科を増やす。 ○自己診断テスト等の結果からどのプリントを学習したらよいか、対応表を配付する。
①	○話し合い活動の充実のため、どの教室にも設置してある授業プレート「考えてみよう」「話し合おう」を積極的に活用する。	B	○プレートの活用方法について共有する。 ○授業の中で考えを発表する機会の設定。（アンケート調査で90%以上） ○授業の中で話し合う活動を入れる。（アンケート調査で85%以上）
②	○家庭学習の充実。	B	○学校、学年で統一した課題の設定。（「毎日学習する」アンケート調査で70%以上） ○予習の効果的な内容について考える。 ○授業で提示した内容がもとなる探究的な課題の開発。 ○学年単位等で、提出率を見える化して、教科担当以外からも声かけができるようにする。
③	○個に応じた指導の充実。	B	○習熟度別指導を利用し、適切な難易度も問題に取り組みさせる。 ○支援の必要な生徒を事前に共通理解して把握し、机間指導を充実させる。 ○定期テスト前の質問教室で、同日に複数教科にならないようにする。 ○生徒がわかるまで取り組みさせる。（アンケート調査で75%以上）
※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」			